

平成26年青森県人口動態統計(概数)の概況 ＜概要版＞

調査結果のポイント

1 自殺者数・自殺率 過去最多の平成15年から半減

自殺者数 H25: 311人 → H26: 270人(▲41人) 自殺率 H25: 23.3(8位) → H26: 20.5(12位) (▲2.8)
(※H15: 576人)

2 合計特殊出生率 2年連続で上昇し、全国平均に並ぶ

H24: 1.36(38位) → H25: 1.40(37位)(0.04ポイントの増) → H26: 1.42(35位)(0.02ポイントの増) ※全国平均H26: 1.42

3 死亡数・死亡率 死亡総数は2年連続減少

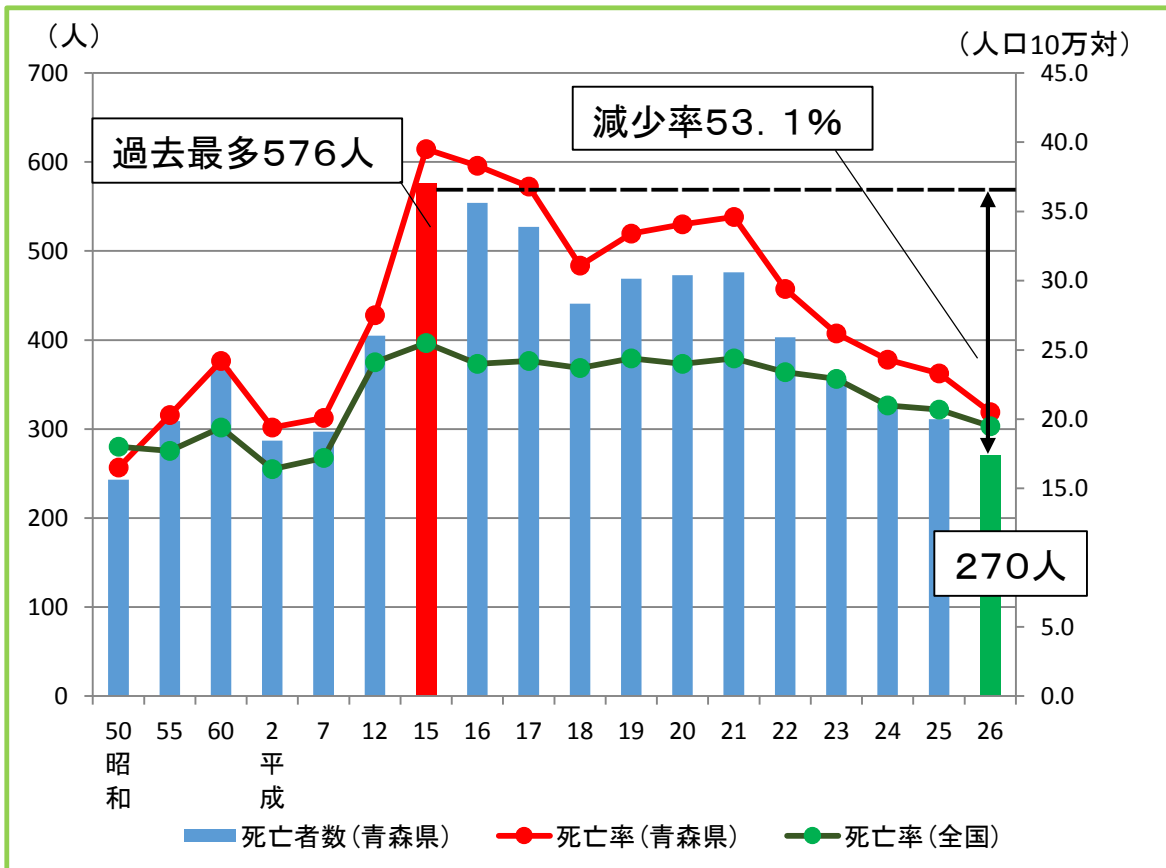
死亡総数 H24: 17,294人 → H25: 17,112人(▲182人) → H26: 17,042人(▲70人) 死亡率 H25: 12.8(8位) → H26: 12.9(7位)
悪性新生物による死亡数 H25: 4,928人 → H26: 5,001人(73人) 死亡率 H25: 369.7(2位) → H26: 379.4(2位)
心疾患 H25: 2,649人 → H26: 2,584人(▲65人) 死亡率 H25: 198.7(10位) → H26: 196.1(13位)
脳血管疾患 H25: 1,806人 → H26: 1,746人(▲60人) 死亡率 H25: 135.5(8位) → H26: 132.5(6位)
肺炎 H25: 1,908人 → H26: 1,741人(▲167人) 死亡率 H25: 143.1(4位) → H26: 132.1(7位)

4 乳児・新生児・周産期死亡率(5年単位比較) 長期的には減少傾向

	乳児死亡率	新生児死亡率	周産期死亡率
平成17～21年	<u>2.77</u>	<u>1.71</u>	<u>5.28</u>
平成22～26年	<u>2.13</u> (▲0.64)	<u>1.08</u> (▲0.63)	<u>3.68</u> (▲1.60)

○自殺者数は過去最多の平成15年から半減

- ・平成25年:311人 → 平成26年:270人(△41人)
- ・平成15年(本県の自殺者が過去最多):576人 → 平成26年:270人(△306人、△53.1%)
- ・40~64歳男性が、平成15年の276人 → 81人(△195人)に減少
- ・自殺率(人口10万対)平成25年:23.3 → 平成26年:20.5(△2.8、全国8位→12位に改善)



【県の取組】

1 心のヘルスアップ事業

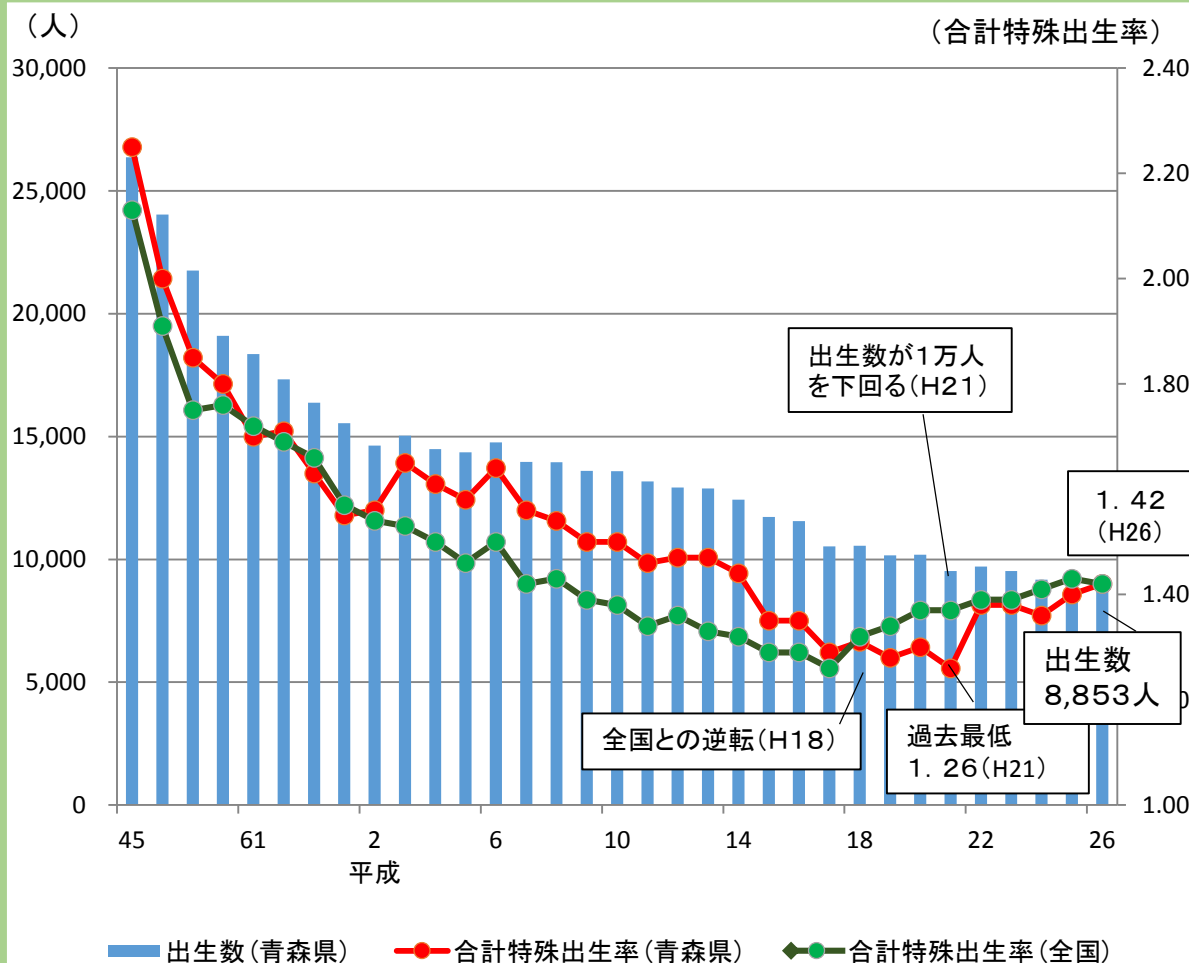
- ・青森県自殺対策連絡協議会の開催
(県内関係機関及び庁内関係部局との連携強化)

2 自殺対策重点化事業

- (1) ゲートキーパーの輪を広げよう強化事業
 - ・ゲートキーパーの育成、自殺対策普及啓発
- (2) 自殺未遂者支援対応力向上
 - ・救急医療従事者等への研修
 - ・モデル地域を選定し、未遂者支援の体制作りの検討 <㊦新規>
- (3) 自殺対策基盤強化
 - ・県及び地域官民連携協議会の実施 <㊦新規>
 - ・民間団体ネットワークの活動充実
 - ・各保健所での研修等、自殺対策の実施

○合計特殊出生率が2年連続で上昇 全国平均に並ぶ

- ・平成24年:1.36 → 平成25年:1.40(0.04ポイントの増) → 平成26年:1.42(0.02ポイント増)
- ・平成18年以降全国平均を下回っていたが、全国平均まで回復 <全国平均:1.42>



【県の取組】

1 あおもり出会い・結婚応援事業

・結婚、妊娠、出産の機運醸成のためのポジティブキャンペーンの実施及び結婚支援ネットワークの形成

2 三ツ星保育支援センター運営事業 <㊦新規>

(1) 三ツ星保育推進事業

① 民有地マッチング事業

・保育所活用物件の公募、事業者とのマッチング等

② 保育士研修等事業

・家庭的保育事業等従事者への研修等

③ 保育人材バンクの設置

・潜在的保育士等の登録システムの作成

(2) 三ツ星保育支援センター事業

・潜在保育士の就職や保育所等での活用支援

・保育士の相談支援

3 病児・病後児保育促進事業 <㊦新規>

(1) 病児・病後児保育運営マニュアル作成普及事業

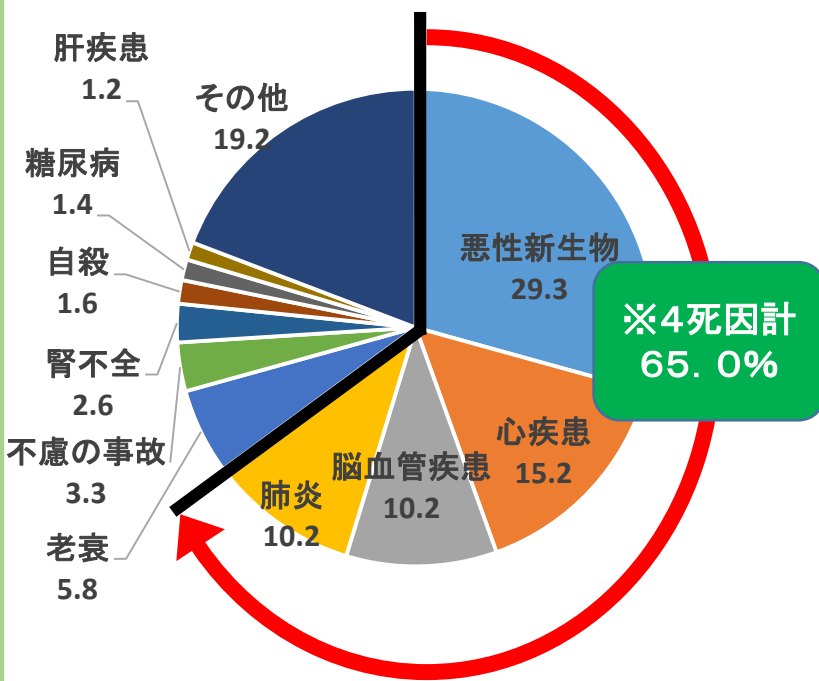
・マニュアル検討委員会の設置、普及啓発研修会の開催等

(2) 病児一時預かりマイ保育所モデル事業

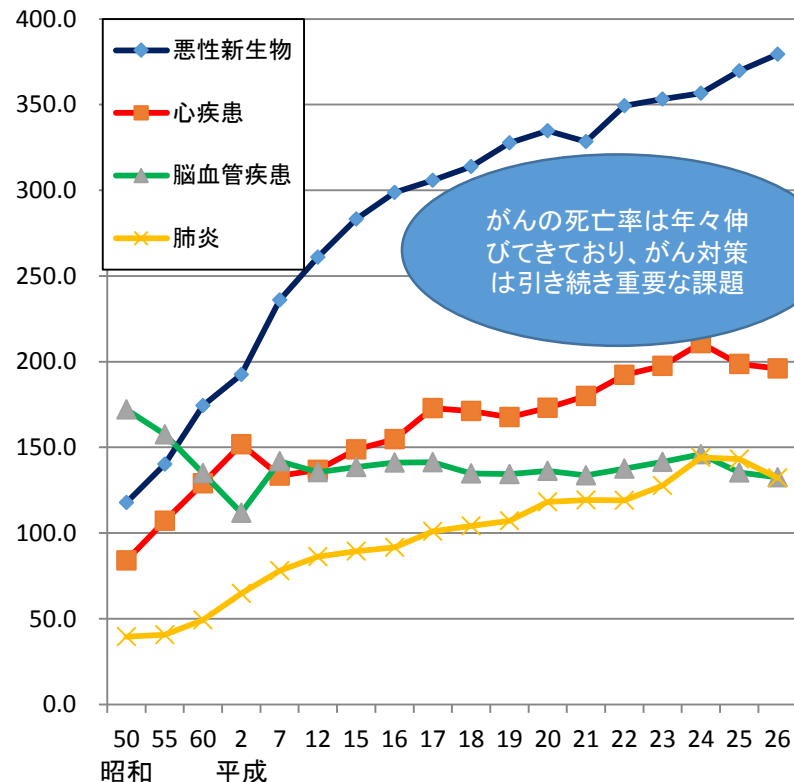
○死亡総数は2年連続減少

- ・死亡総数 平成24年:17,294人 → 平成25年:17,112人(▲182人) → 平成26年:17,042人(▲70人)
- ・うち悪性新生物 平成25年:4,928人 → 平成26年:5,001人(▲73人)
- 心疾患 平成25年:2,649人 → 平成26年:2,584人(▲65人)
- 脳血管疾患 平成25年:1,806人 → 平成26年:1,746人(▲60人)
- 肺炎 平成25年:1,908人 → 平成26年:1,741人(▲167人)
- ・死因は①悪性新生物②心疾患③脳血管疾患④肺炎の順 4死因で全体の65.0%を占める

○平成26年死因別構成比



(人口10万対) ○死因別死亡率年次推移



【県の取組】

1 さあ始めよう！あおもり「健活」推進事業

- (1) 「健やか力」向上推進事業
 - ①「健やか力」パワーアップ事業
 - ②あおもり「健やか力」検定事業
- (2) 働く世代の健(検)診受診率向上対策事業
 - ①がん検診コール・リコールセンターモデル事業 <㉗新規>
 - ②市町村肝炎重症化予防対策事業 <㉗新規>

2 健やか力総合推進事業 <㉗新規>

- (1) 健康づくりのための基盤整備事業
 - ①健康づくりに関するデータ収集・分析事業
 - ②企業、団体等における人財養成事業
- (2) 煙からマモル環境整備事業
 - 若者の禁煙サポート推進事業

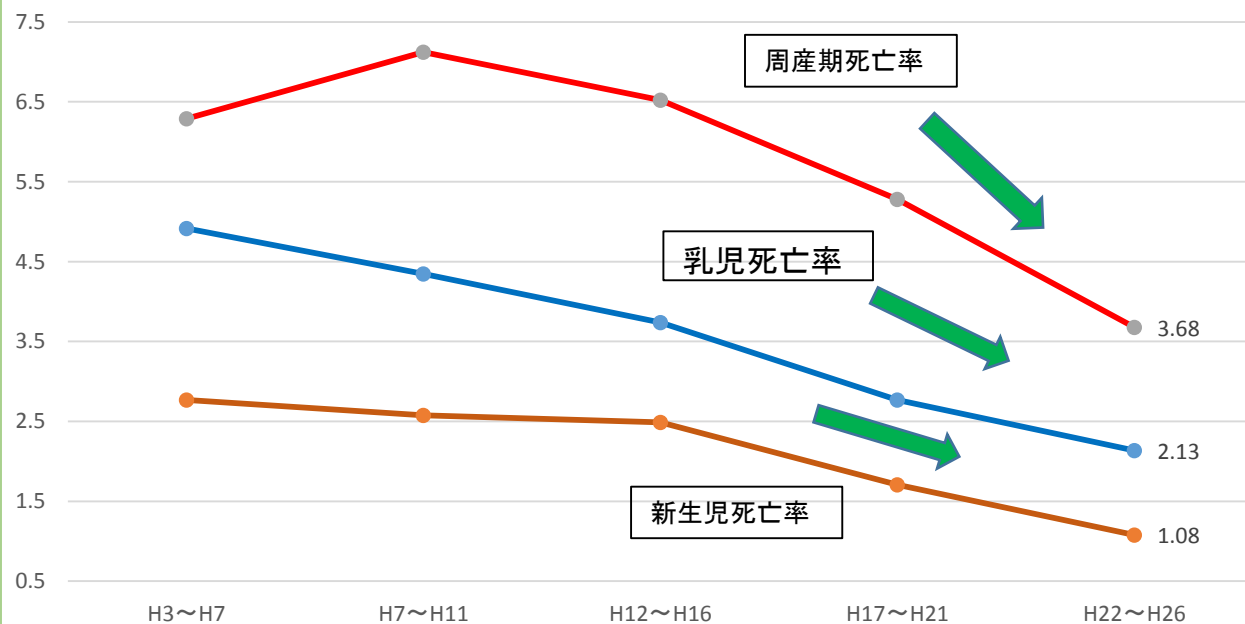
○乳児・新生児・周産期死亡率は長期的には減少傾向

平成17～21年

平成22～26年

乳児死亡率	2.77	→	2.13 (▲0.64)
新生児死亡率	1.71	→	1.08 (▲0.63)
周産期死亡率	5.28	→	3.68 (▲1.60)

乳児・新生児・周産期死亡率推移(5年単位)



【県の取組】

1 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター(平成16年10月から稼働開始)を中心とした「青森周産期医療システム」の運用

- ・総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター及びそれに準じる施設を中心とした周産期医療体制による、24時間対応可能な周産期の救急対応
- ・新生児搬送や新生児集中治療管理室(NICU)の後方支援病室確保も含めた新生児医療の提供が可能な体制

2 妊娠期からのマザーサポート推進事業<㊷新規>

- ・安心して出産できる環境づくり等のため、妊娠に関する問題を抱える母親に対し、地域の産科医療機関や市町村等との連携による相談援助活動を行う県医師会に対する補助